



ライナー・クニツィア作

## フィフティ・フィフティ

3 - 5 人用 9 歳以上 約 30 分

### ゲームの概要と目的

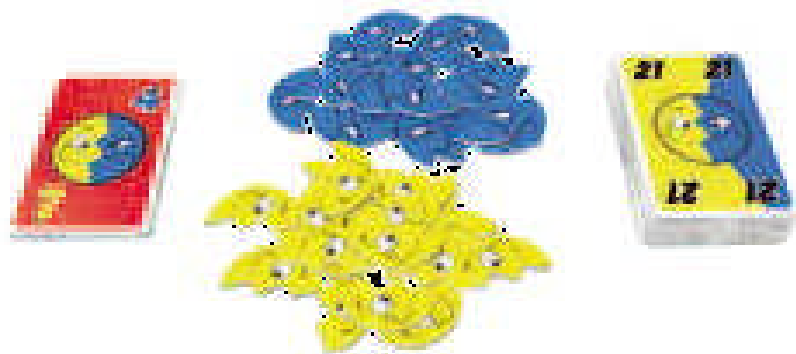
大きな数字のカードをプレイすると、怒った青い顔のピースを取り、小さな数字のカードをプレイすると笑った黄色い顔のピースを取ります。しかし、異なる顔の組み合わせでうまくピースを減らし、最後にできるだけ持っていない人が勝利します。

### ゲームの内容物と準備

10 枚の機嫌カードを混ぜ裏向きの山札にしてテーブルの中央に置きます。

半分の顔のチップを取りやすい場所に集めておきます。

最も元気な人が 50 枚のフィフティカードをよく混ぜ、各プレイヤーに 9 枚ずつ配り手札として持ちます。残ったカードはこのラウンドでは使わないので脇に避けておきます。

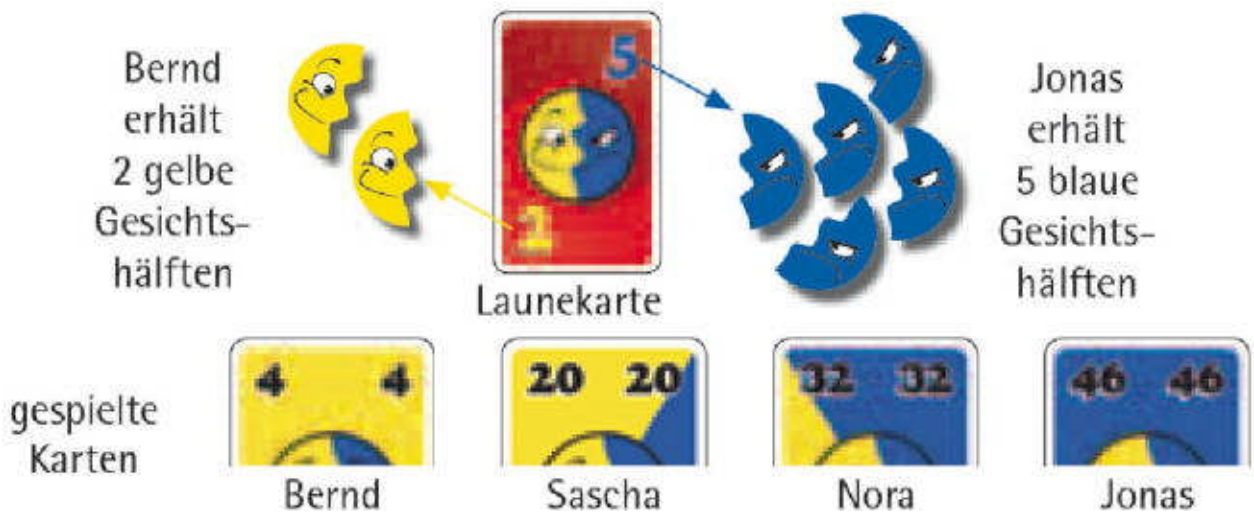


### ゲームの方法

ディーラーの左隣の人がファースト・プレイヤーです。機嫌カードの一番上のカードをめくり、それから手札から 1 枚カードを選び、表向きにして自分の前に置きます。時計回りに他のプレイヤーも同じようにカードをプレイします。

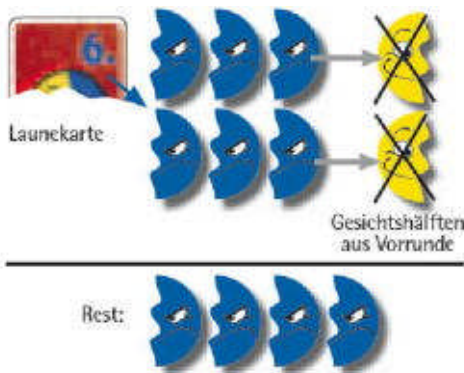
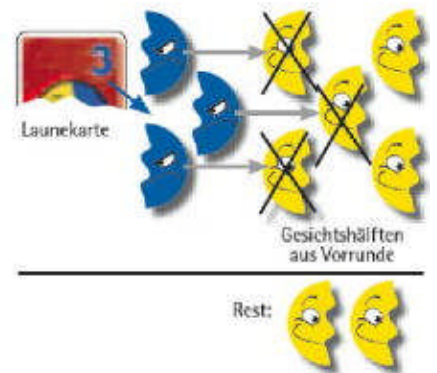
その後、半分の顔のチップは次のルールに従って配布されます。

- 最も大きい数字を出したプレイヤーは、機嫌カードに青い数字で記されている数だけ、青の顔のチップを受け取ります。
- 最も小さい数字を出したプレイヤーは、機嫌カードに黄色い数字で記されている数だけ、黄色の顔のチップを受け取ります。
- 最小・最大の数ではないカードをプレイしたプレイヤーは何も受け取りません。



黄色と青の顔が半分ずつあると、二つで組み合わせさって一つになって減らすことができます。その結果、顔のチップの数を半分にさえることができます。

Noraは、最も大きいフィフティカードをプレイしました。彼女は3枚の青い顔のチップを受け取ります。そこで、5枚あった黄色の顔のチップから3枚を組み合わせさせて減らすことができます。その結果、2枚の黄色いチップが残るだけとなりました。



次のラウンドもNoraが一番大きい数字をプレイしました。6枚の青い顔のチップを受け取ります。2枚の黄色の顔のチップと組み合わせさせて減らし、4枚の青い顔のチップが残ります。

プレイされたカードは、脇へ置いておき、次の機嫌カードをめくります。そして新たなラウンドです。最も大きな数字をプレイしたプレイヤーが、最初のカードを手札からプレイします。全てのカードをプレイし、顔チップを配ったら、最初のゲームは終了です。

プレイヤーの人数分のゲームを行います。カードを配り、チップを準備します。スタートプレイヤーは、時計回りに交代していきます。

各ゲームごとに、結果を記録していきます。青でも黄でも持っている半分の顔のチップ1枚ごとにマイナス1ポイントです。ゲームの終わりに向けて顔チップがなくなるようにバランスを取って進めないと、とんでもない点数になってしまうに違いありません。

## ゲームの終了

最後のゲームが終わったら全て終了です。最もマイナスポイントが少ない人が勝ちです。